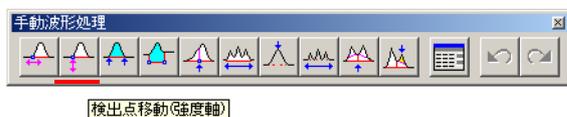


検出点移動(強度軸) ピーク検出の位置を上下に移動させるー



【事例】

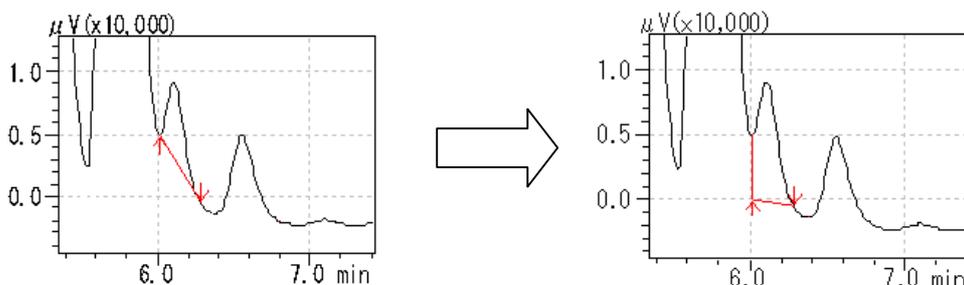
【現状】 ピークの切り方が希望どおりになっていない。垂直分割すべきなのに、ベースライン分割になっているので、ピーク面積が小さくなってしまっている。

【要望】 ピーク検出の位置を上下方向の希望する位置へ手動で動かしたい。

【解決方法】 [検出点移動(強度軸)]ボタンを使用して、検出点を上下に動かします。

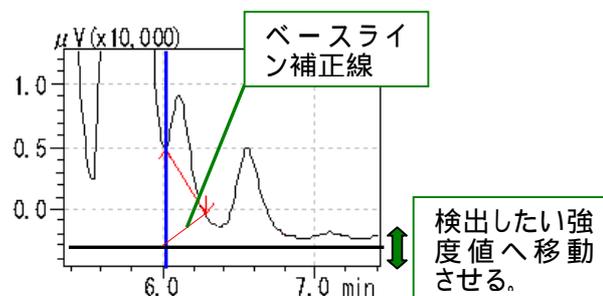
【コマンドの意味】

ピーク検出点はベースライン沿いには移動しません。つまり、既に検出された検出開始点もしくは検出終了点の強度値が変更されます。



【操作方法】

- (1) [手動波形処理ツールバー]から[検出点移動(強度軸)]ボタンをクリックします。
- (2) マウスの位置に縦線が現れます。
- (3) 変更したいピーク検出点の付近へこの縦線を移動した後、クリックします。
- (4) そのピーク検出時間へ縦線(青色)が移動すると同時に、横線(黒色)およびベースライン補正線が追加されます。(右図参照)
- (5) ピーク検出点(横線)はマウスで上下方向(強度軸方向)に動かすことができます。目的の位置(強度値)へ移動した後、クリックすると、手動波形処理が実行されて、その値がテーブルに追加されると同時に、表示クロマトが更新されます。



【備考】

- ・ ピーク検出開始点および終了点のどちらの変更も可能です。

【テーブルにおける表示内容の意味】

時間 (min)	処理命令	数値
ピーク検出点の時間	Move BL(Vertical)	変更後の検出器信号強度